

集落営農法人が中心となって取り組む被害対策

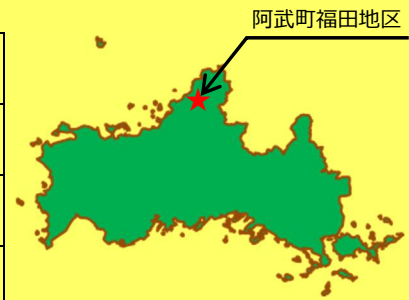
1 要旨

(農)福の里がある福田中地区は、阿武町内陸部の標高 400m に位置し、水稻を中心に大豆等が生産されている。これまで、阿武町や国の補助制度等を活用して防護柵を設置するなど対策を講じてきたが、地域住民・法人組合員の高齢化等により対応が困難な状況であった。

このため、(農)福の里が中心となって「地域ぐるみの取組み」を推進・強化することとし、関係自治会・住民、猟友会、阿武町が連携して被害対策に取り組んでいる。

2 地区の概要

地区名	阿武郡阿武町福田地区
主な作物	水稻、大豆
加害獣種	イノシシ、ヌートリア、サル
対策実施年度	令和6年度（令和5年度プラン作成）



3 被害の状況と課題

水稻ではイノシシによる被害が甚大である。近年、山から離れた圃場にまで出没するようになり、稲穂の食害、圃場全面の掘り起こし、畦畔や水路の破壊等の被害を受けているため、生息地管理+侵入防止+捕獲の取組みを総合的に進め、被害を防止する。

また、ヌートリアも増えてきており、水稻が食害を受けている。大豆や家庭菜園ではサルの被害が大きく、特に家庭菜園では高齢者の喜びや生きがい、農作物の生長や収穫の楽しみを奪われているため、対策を強化する。

4 取組内容

○専門家による研修会の実施

集落環境や被害対策等の状況を調査・検討し、鳥獣被害対策に関する知見を深めた。



集落環境点検



座学研修

○緩衝帯・防護柵・箱罾の設置

法人エリア内で優先順位の高い箇所に緩衝帯を設置した。また、計画に沿って防護柵（ワイヤーメッシュ柵、電気柵）及び箱罾を設置した。



緩衝帯設置



箱罾作成



ワイヤーメッシュ柵新設



電気柵設置

5 取組の成果

令和5、6年に緩衝帯を設置した。また、防護柵や箱罾の設置などを実施した。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	3,500	3,600	100	—	—	—	—
ヌートリア	300	290	▲10	—	—	—	—
サル	18	15	▲3	—	—	—	—

6 地区代表者のコメント

鳥獣被害対策は、地域ぐるみで取り組むことが重要であることから、効果的・効率的な取組みとなるよう「地域ぐるみ活動対策プラン」に基づき、法人・住民・猟友会・行政が役割を分担・協力して進めていきたい。

7 今後の取組

緩衝帯の拡大、防護柵の新設により侵入を防止する。
地域住民を中心としたサルの追い払い活動を充実させる。
猟友会と連携し、捕獲罾の管理・監視体制を強化する。
定期的な集落点検や研修会開催により、地域ぐるみ活動の意識向上を図る。